

3月19日(日) 第二礼拝

「新しく生まれる」ヨハネ3章3-7節

世界で最も厳格な宗教であるユダヤ教。その中で最も厳格なのはパリサイ人でした。その中に指導者ニコデモがいました。ニコデモは夜中イエス様のところに来て、イエス様がメシアであることを告白します。イエス様は言います。「…人は新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」3節5節7節に3回も新しく生まれることを語られています。英語は You must be born again(必ず新しく生まれなければならない)と書かれています。

肉によって生まれた者は肉です。エペソ 2:12 異邦人は、キリストから離れ、イスラエルの国から除外され、約束の契約もなく望みのない人たちでした。逆にユダヤ人は、その異邦人が持っていないものを全て持っていました。しかし、全てを持っているユダヤ人指導者ニコデモに、イエス様は「人は水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることができません。」と言われました。ニコデモはそのことが理解できませんでした。

創世記 2:7 神様は土地のちりて人を形造り、その鼻に神の霊を吹き込んで、人は生きものになったと書いてあります。この生きものとは、いのちの木の実を取って食べて信じて生きる存在です。しかし神様のいのちの木の実(神様の御言葉)から離れるなら必ず死にます。創世記 2:17 善悪の知識の木の実を取って食べるとは、人間が善悪を決め、人間が神様のようなことになることです。食べた結果、聖霊様は人を離れてしまいました。これは霊的に死ぬという意味です。人はサタンの支配下に置かれました。しかし神様は、罪を犯し、永遠の死の呪いを受けた人間を憐れんでくださり、救い主イエスキリストを送ってくださいました。

ヨハネ 19:34 イエス様が十字架につけられた時、兵士の一人がイエス様のわき腹を槍で突き刺すと血と水が出てきました。I ヨハネ 5:6-8 水と血によって来られたイエス様は、私達の身代わりとなり水と血を流されました。御霊のあかしは水と血(イエスキリスト)です。それを信じて受け入れる者は、救われ永遠の命を得ます。

創世記 4:26 セツにエノシュが生まれた時、主の御名によって祈ることを始めました。エノシュはヘブライ語で死ぬ運命、死ぬしかない存在、ちりという意味です。「神様無しでは死ぬ運命です。主よ憐れんでください。あなたの救いが必要です。」この叫びが水と血(イエスキリスト)を呼びます。宗教指導者のニコデモに、「あなたは死ぬ運命(エノシュ)です。救いが必要です。水と御霊が必要です。」と主は語られました。水と御霊は、三位一体の神様の力です。救いは自力ではなく他力なのです。全ての宗教の共通点は、修行を積み重ね(自力)、自らが神になることです。世界は宗教を統合し、イエスキリストを取り除いて一つとなろうとしています。しかし、救いはイエスキリストによってのみあります。イエスキリストによって、自分はエノシュだと告白(悔い改め)した人を、神様が御霊によって信仰を与え救ってくださいます。また、御霊は私たちが神の子であると教え、アバ父よと呼ぶことができるようにされました。(使徒 2:38、ローマ 8:15.16)

いのちを与えられた私たちが、今度は人々に救いを伝える働きをします。聖霊様がニコデモのように宗教で支配されている人々を解放してくださいます。聖霊様と共に祈り、聖霊様と親しくなり、伝道に励んで、日本の救いを求めていきましょう。アーメン!